

## 「18年ぶりの渇水を乗り切る」 ～ 渇水対策支部(注意体制)を解除 ～

山形河川国道事務所及び最上川ダム統合管理事務所では、渇水対策支部を設置しておりましたが、かんがい用水の取水が9月30日に終了したことや、最近の降雨により最上川の流況が改善してきており、また、白川ダム(国)等の貯水量も回復したことから、本日10時に渇水対策支部を解除しました。

なお、今後の降水量については平年並みの見通しとなっております。

- 最上川では平成6年以来18年ぶりの渇水対応となりましたが、最上川水系渇水情報連絡協議会での情報共有や、利水者による自主的な節水等の協力により、渇水を乗り切ることができました。また、平成6年の渇水で生じたプールの使用自粛等もなく市民生活への直接的な影響はありませんでした。
- 白川ダムでは、昭和56年完成以来の記録的な渇水となりましたが、ダムからの補給と利水者の節水・番水等の水利用の工夫により、置賜白川沿川のかんがい期(9月8日まで)を乗り切るとともに、河川の生態系への影響が生じないように努めました。
- なお、寒河江ダム(国)・長井ダム(国)では、最上川及び寒河江川と置賜野川の農業用水などの水利用及び河川環境保持のため、連携したダムからの補給を行い渇水被害防止に寄与しました。

〈発表記者会：山形県政記者クラブ〉

### 問い合わせ先

国土交通省山形河川国道事務所      Tel 023-688-8942  
技術副所長      高橋 孝男 (内線204)  
河川管理課長      田村 公仁 (内線331)

国土交通省最上川ダム統合管理事務所      Tel 0237-75-2311  
技術副所長      荒木 勝彦 (内線204)  
管理課長      三原 金吾 (内線331)

## 【今年の渇水状況】

○ 山形河川国道事務所管内の河川流域では、7月から8月にかけての降水量が平年に比べて少なく、特に上流の米沢では8月の降水量が平年の22%と極端に少ない状況でした。

### ○ 河川の流況

#### 最上川 糠野目観測所

基準流量	3.00 m <sup>3</sup> /s
10月10日	4.73 m <sup>3</sup> /s (午前9時現在)

#### 小出観測所

基準流量	7.00 m <sup>3</sup> /s
10月10日	17.00 m <sup>3</sup> /s (午前9時現在)

#### 中郷観測所

基準流量	11.00 m <sup>3</sup> /s
10月10日	25.86 m <sup>3</sup> /s (午前9時現在)

#### 稲下観測所

基準流量	30.00 m <sup>3</sup> /s
10月10日	53.44 m <sup>3</sup> /s (午前9時現在)

#### 高屋観測所

基準流量	60.00 m <sup>3</sup> /s
10月10日	61.90 m <sup>3</sup> /s (午前9時現在)

※「基準流量」渇水対策支部設置の基準となる流量

### ○白川ダム の状況

・昭和56年完成以来の記録的な渇水を計画的にダム運用を行い、農業被害もなく乗り切ることができました。

・9月21日には白川発電所の発電取水を再開しました。

・今後も河川環境の保全に努めながら、貯水位の回復を図り、万全な管理に努めます。

10月10日9時現在の貯水位 EL 318.22 m

貯水率 59%

流入量 1.43 m<sup>3</sup>/s

放流量 4.48 m<sup>3</sup>/s

### ○寒河江ダム の状況

10月10日9時現在の貯水位 EL 369.94 m

貯水率 46%

流入量 4.87 m<sup>3</sup>/s

放流量 0.87 m<sup>3</sup>/s

### ○長井ダム の状況

10月10日9時現在の貯水位 EL 350.40 m

貯水率 48%

流入量 0.58 m<sup>3</sup>/s

放流量 2.70 m<sup>3</sup>/s

○県管理ダムの状況

・木地山ダム	10月10日9時現在の貯水位	EL 470.61m
	貯水率	22%
	流入量	1.41m <sup>3</sup> /s
	放流量	0.00m <sup>3</sup> /s
・蔵王ダム	10月10日9時現在の貯水位	EL 594.08m
	貯水率	100%
	流入量	1.20m <sup>3</sup> /s
	放流量	1.20m <sup>3</sup> /s
・前川ダム	10月09日9時現在の貯水位	EL 253.51m
	貯水率	43%
	流入量	0.04m <sup>3</sup> /s
	放流量	0.04m <sup>3</sup> /s
・白水川ダム	10月10日9時現在の貯水位	EL 348.64m
	貯水率	36%
	流入量	0.01m <sup>3</sup> /s
	放流量	0.18m <sup>3</sup> /s
・綱木川ダム	10月10日9時現在の貯水位	EL 446.33m
	貯水率	30%
	流入量	0.54m <sup>3</sup> /s
	放流量	0.49m <sup>3</sup> /s

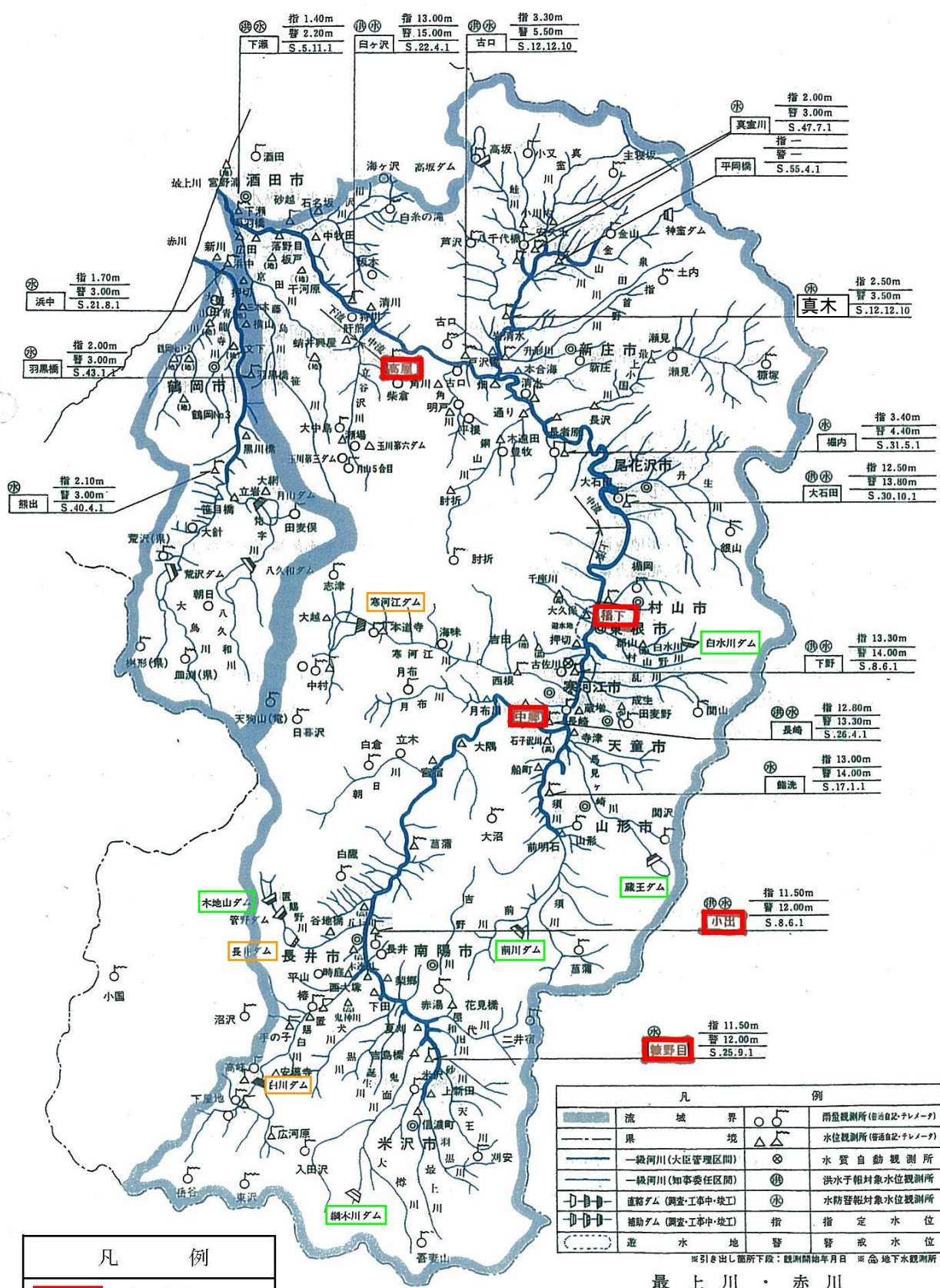
※前川ダムは管理所へ出向いてデータを確認するため前日のデータとなっております。

○渇水対策体制及び会議等の経過の状況

月日	対応内容	特記事項
8月8日	山形河川国道事務所支部渇水対策体制 注意体制設置	
8月22日	最上川水系渇水情報連絡協議会(幹事会)の開催	
同22日	最上川ダム統合管理事務所白川ダム管理支所支部渇水対策体制 注意体制設置	
8月23日	最上川ダム統合管理事務所白川ダム管理支所で、ダム利水者の調整会議を開催	かんがい取水量(実績)から約15%の節水に取り組むことを決定
8月30日	白川ダム利水調整会議を開催	9月1日以降、かんがい取水量(許可量)から20%の節水に取り組むことを決定
10月10日	・山形河川国道事務所支部渇水対策体制の解除 ・最上川ダム統合管理事務所白川ダム管理支所支部渇水対策体制の解除	

※別添資料参照

# 位置図



凡	例
<span style="border: 2px solid red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	流量観測所
<span style="border: 2px solid orange; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	ダム(国管理)
<span style="border: 2px solid green; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	ダム(県管理)

凡	例
—	流域界
---	境界
—	一級河川(大臣管理区間)
—	一級河川(知事委任区間)
—	連絡ダム(調査・工事中・竣工)
—	補助ダム(調査・工事中・竣工)
—	遊水地
○	雨量観測所(自治体・テレメータ)
△	水位観測所(自治体・テレメータ)
◎	水質自動観測所
⊗	洪水予報対象水位観測所
⊕	水防警報対象水位観測所
指	指定水位
警	警戒水位

最上川・赤川

※引き出し箇所下段：観測開始年月日 ※高地下水観測所

南陽市梨郷付近（長須賀淵排水樋管付近）



渇水時の状況



現在の状況（9月25日）

大江町大字藤田付近（柏陵橋上流付近）



渇水時の状況



現在の状況(9月25日)

村山市大字大槓付近（竜神の吊橋付近）

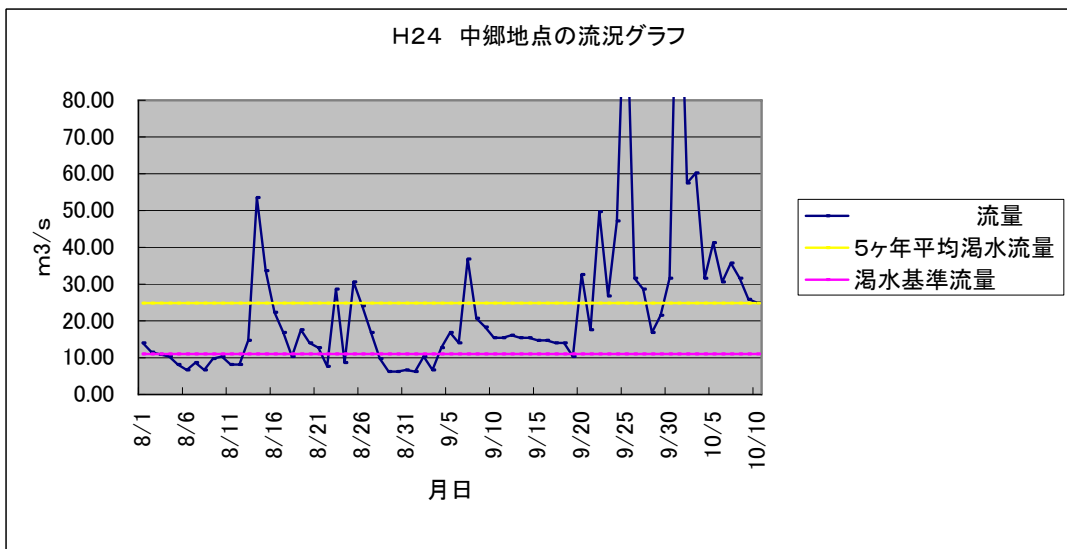
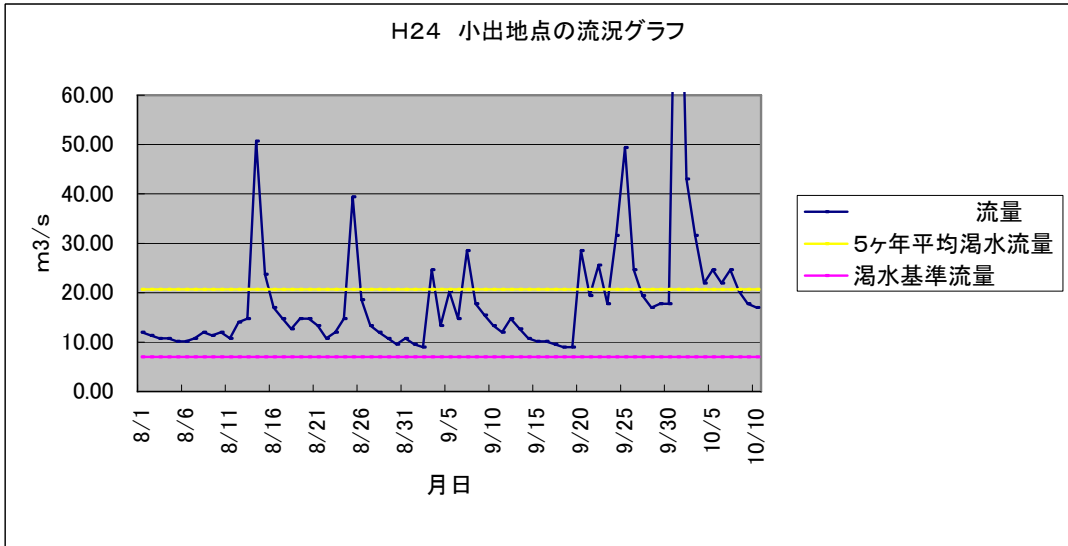
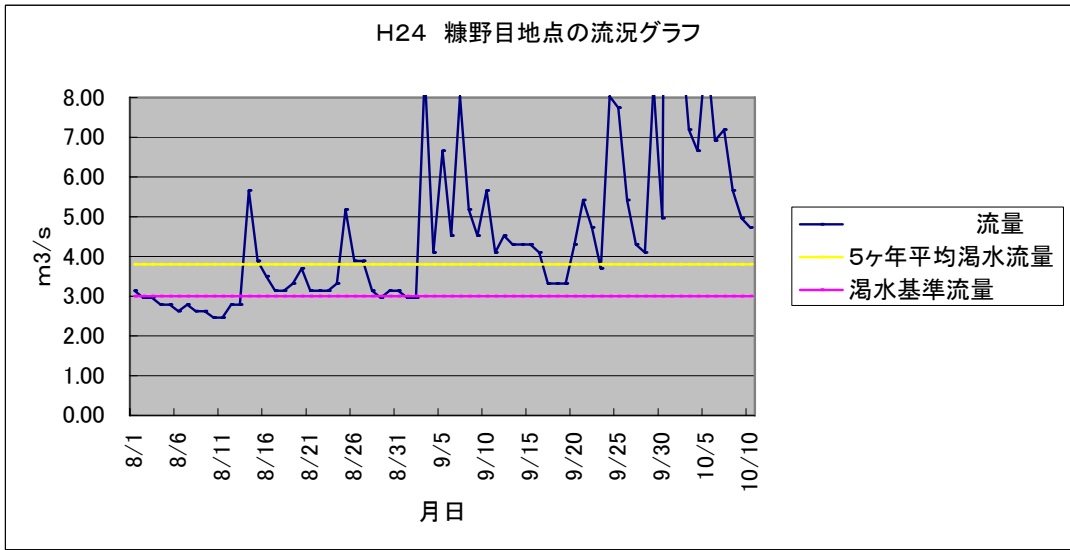


渇水時の状況

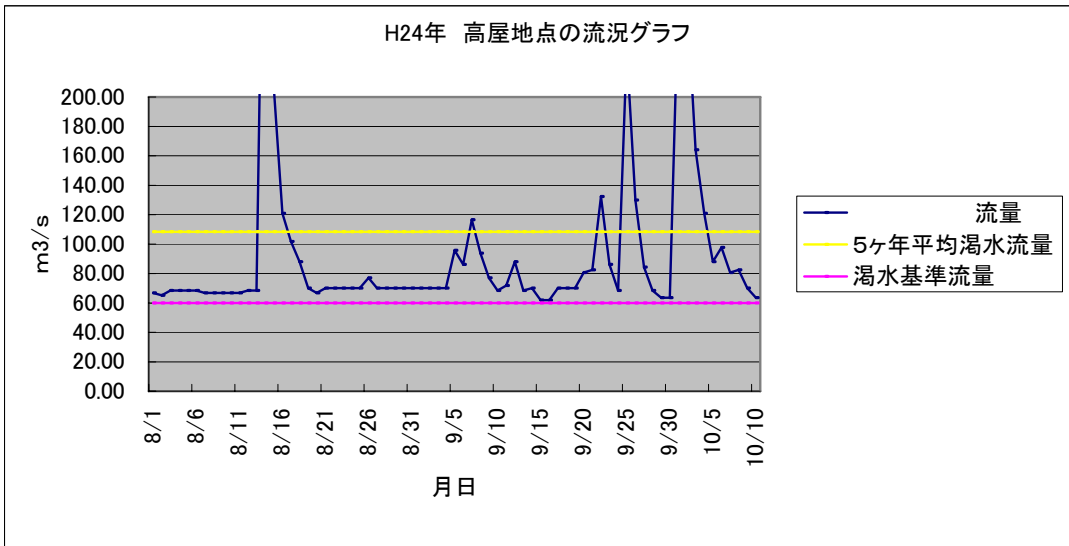
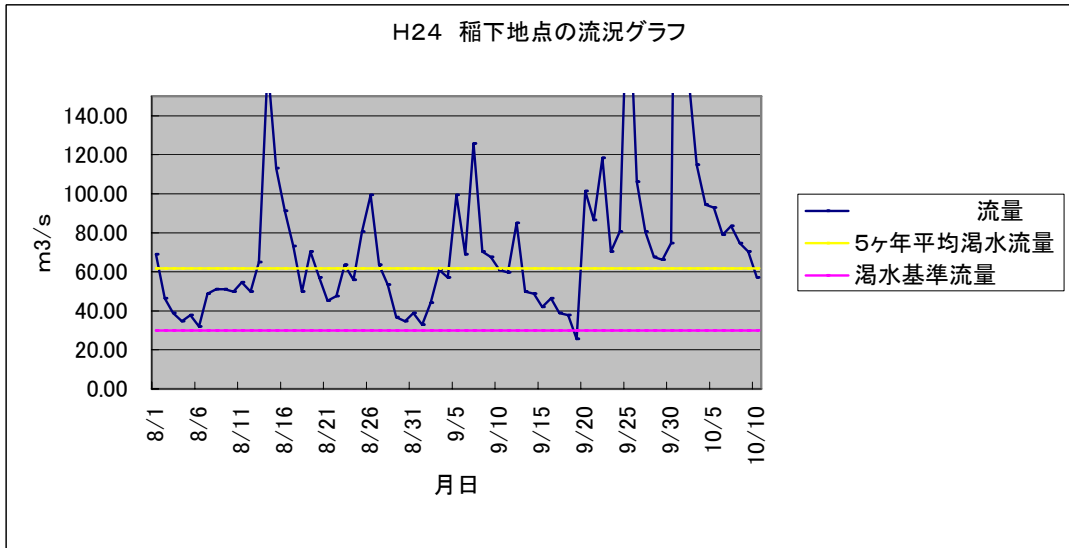


現在の状況(10月2日)

# 流量観測所流況グラフ



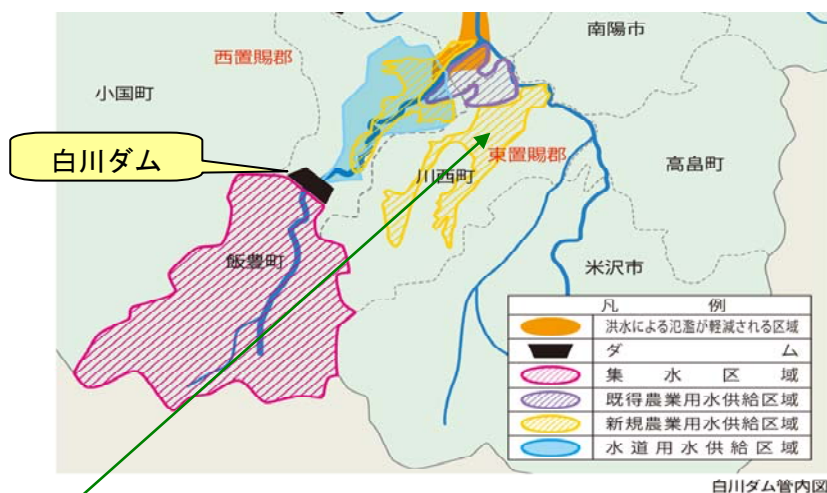
# 流量観測所流況グラフ



## ダムの補給量調整における効果

### ①米の収穫高の確保

- ・ 今回の水利用調整により、飯豊町・川西町・長井市の1市2町にまたがる県南部有数の穀倉地帯である当地域の米の品質及び収穫高（平年約22万俵、13,000 t）の確保に努めました。

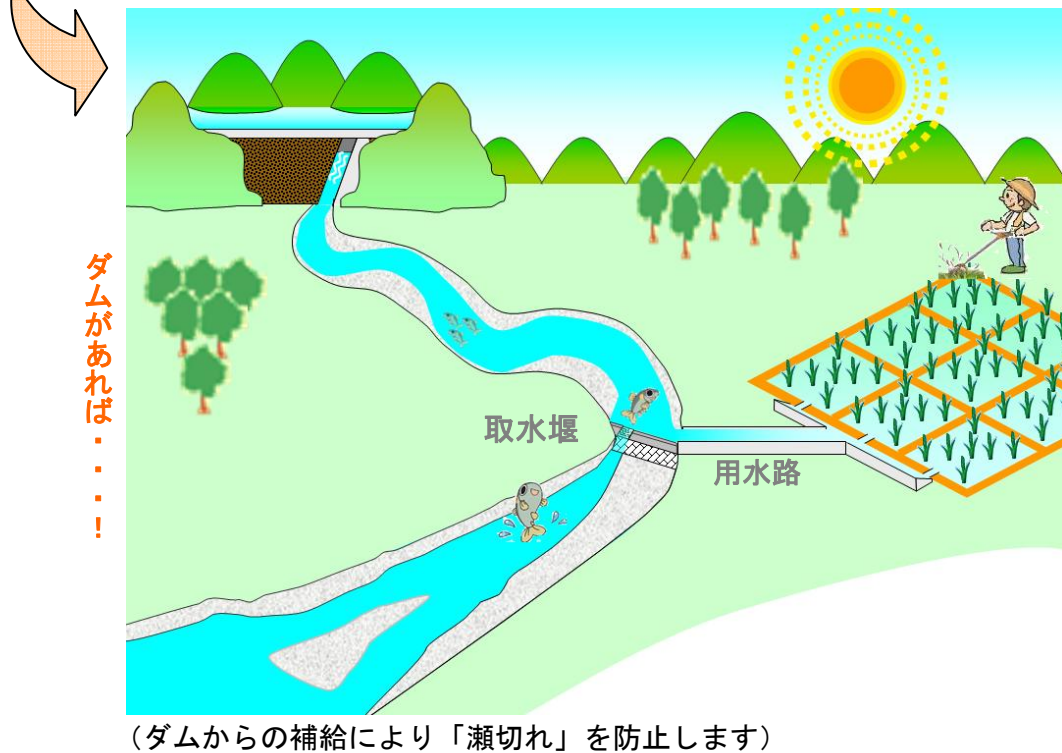
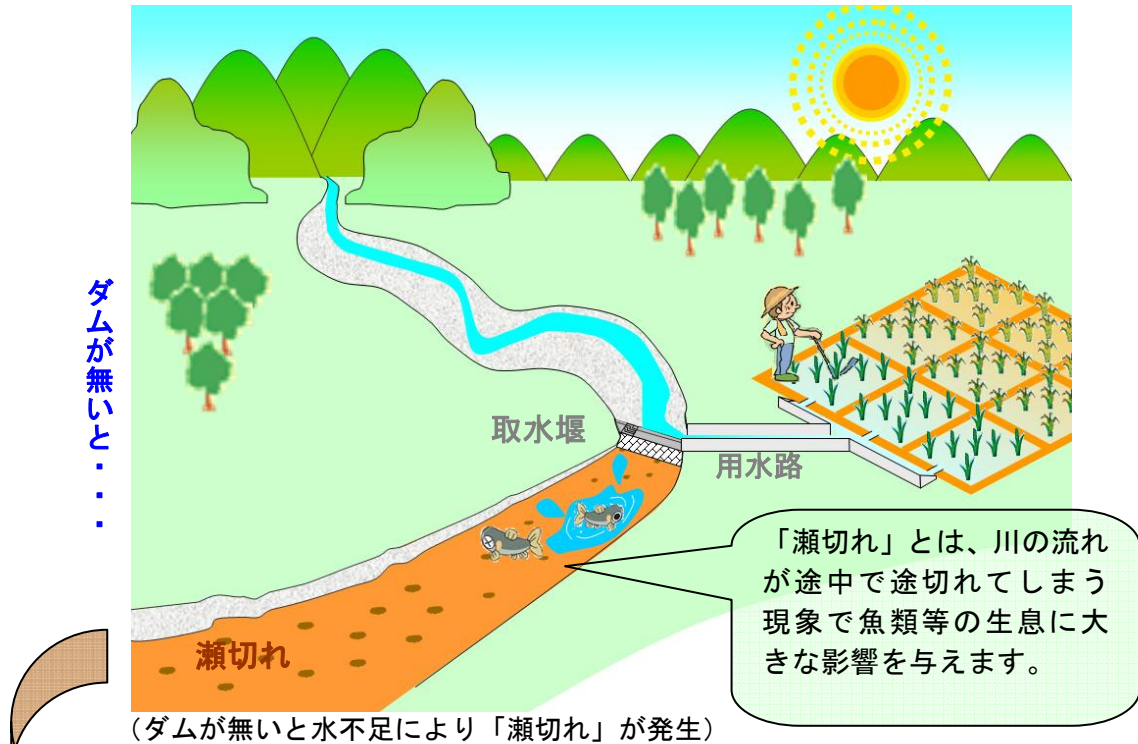


（登熟期を迎えた稲の状況）

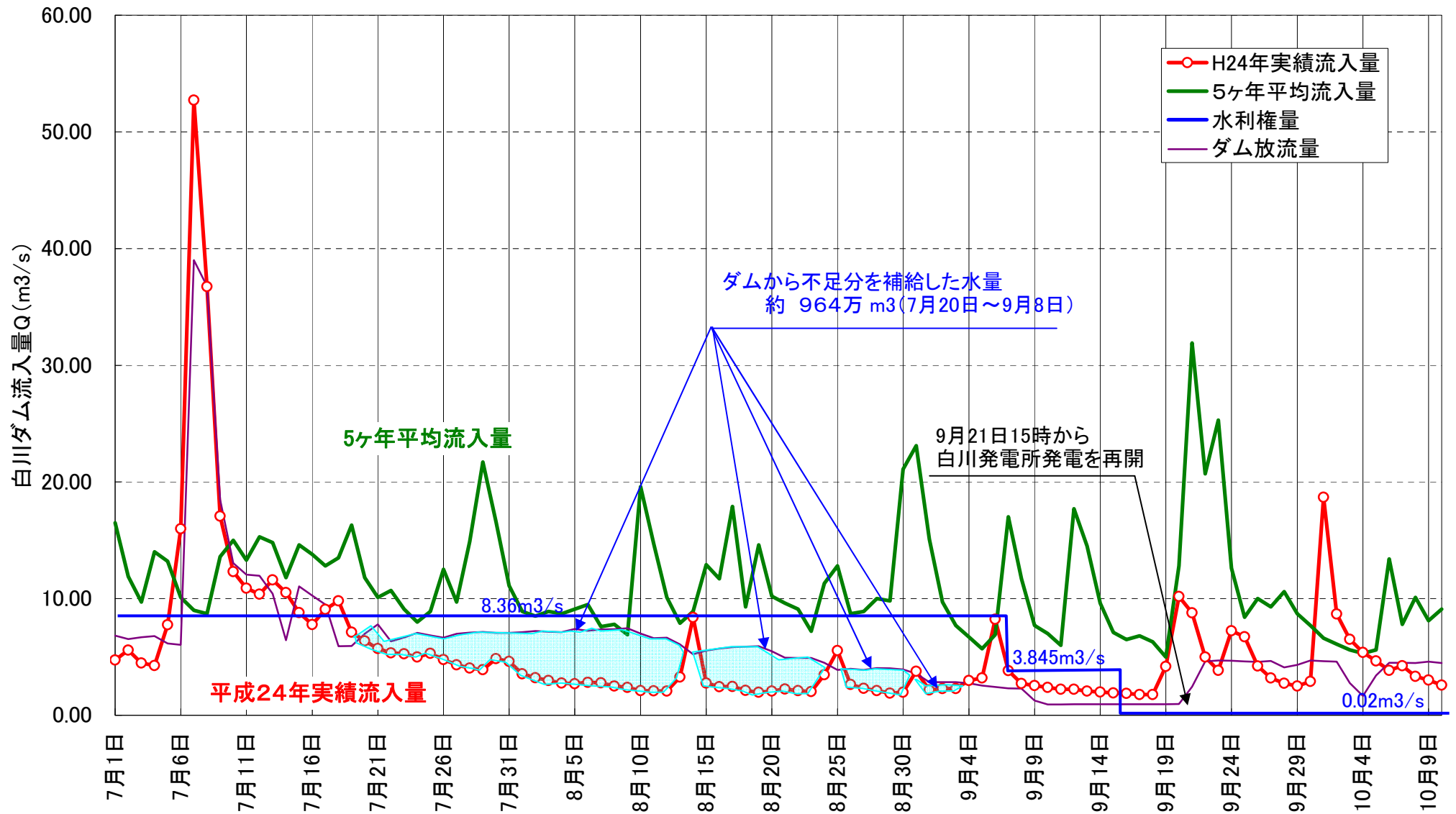


## ②河川環境の保持

- 「瀬切れ」防止への取り組み。  
渇水により川の流が途中で途切れる事により置賜白川に棲む魚類等水性生物へ悪影響を及ぼします。  
今回、白川ダムからの放流により「瀬切れ」を防止しました。



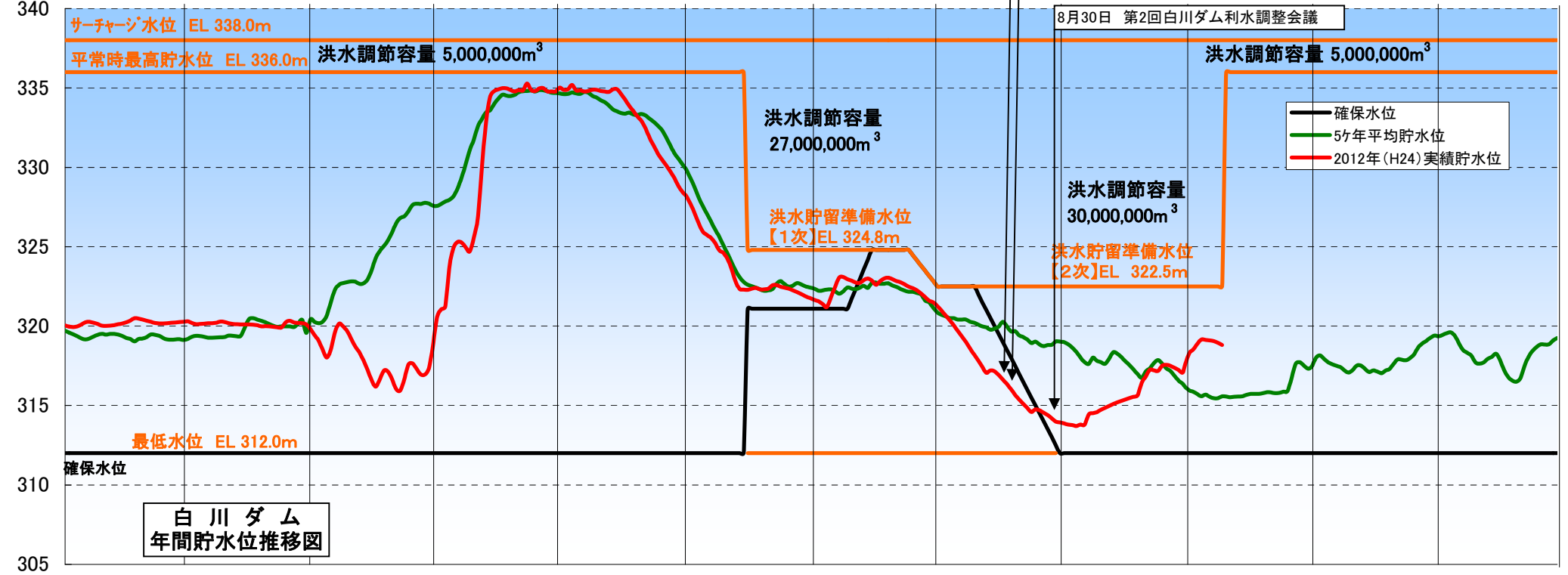
# 白川ダム流入量状況( 7月～10月 日平均)



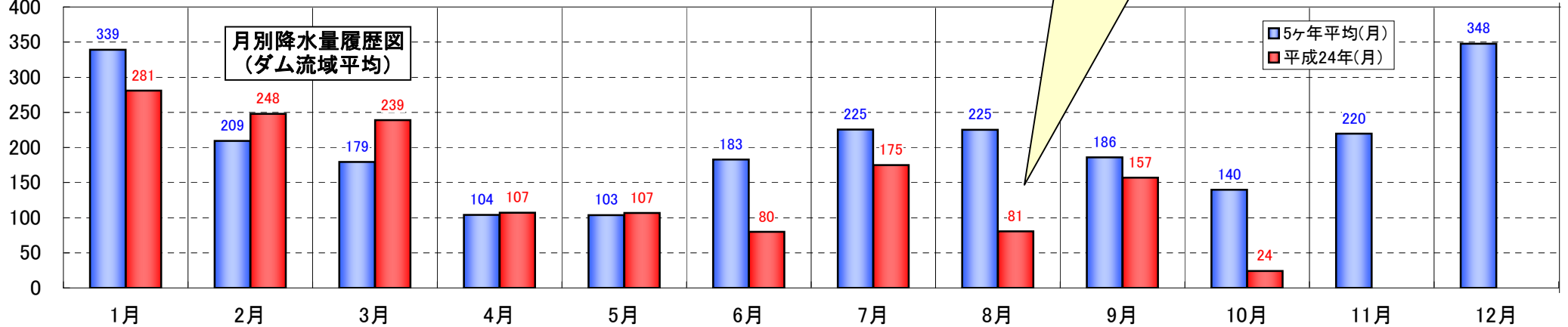
# 白川ダム年間貯水位曲線

有効貯水容量 41,000,000m<sup>3</sup>

(EL m)

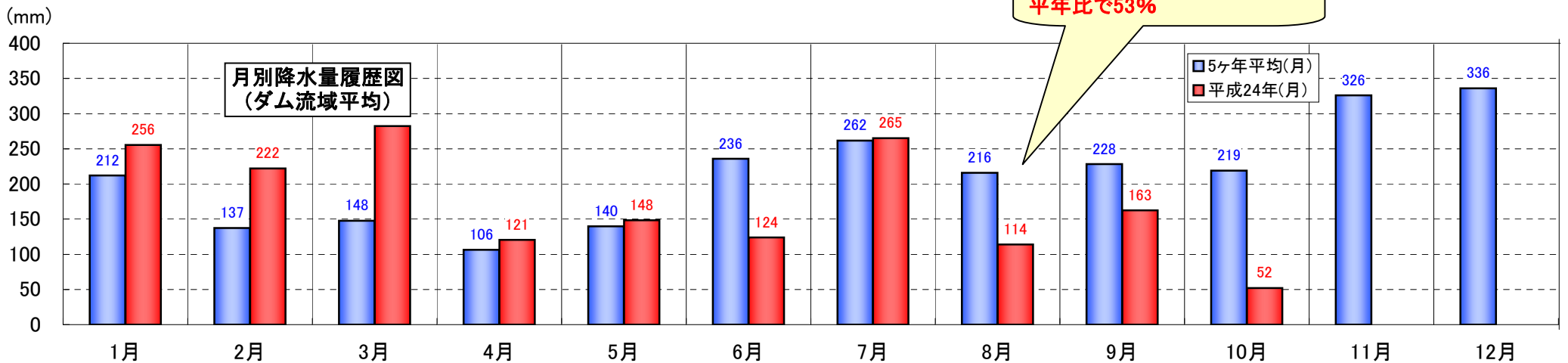
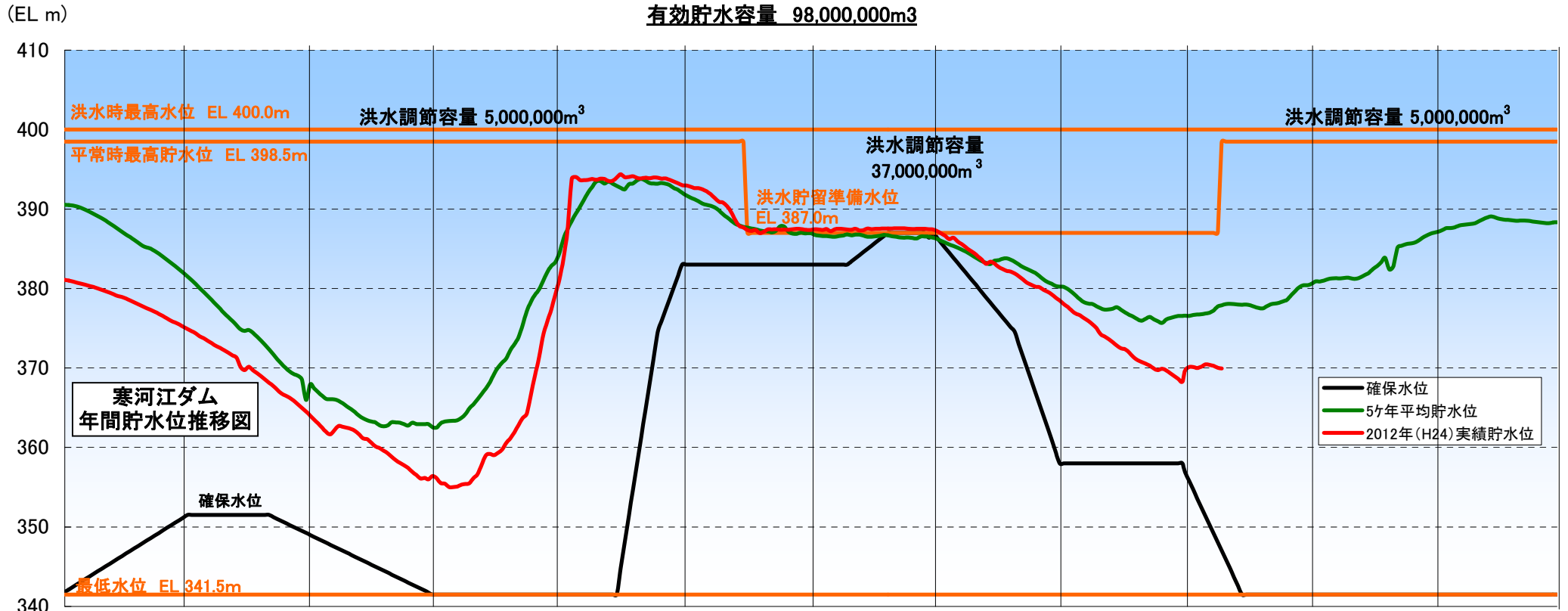


(mm)



# 寒河江ダム年間貯水位曲線

有効貯水容量 98,000,000m<sup>3</sup>



# 長井ダム年間貯水位曲線

有効貯水容量 48,000,000m<sup>3</sup>

(EL m)



(mm)

